

平成27年度小豆島オリーブビギナー検定(小豆島会場) 正解表

設問	正解	テキスト 記載P	備 考	設問	正解	テキスト 記載P	備 考	設問	正解	テキスト 記載P	備 考
問1	3	P54	最初に地中海沿岸へオリーブを広めたのはフェニキヤ人で、その後ギリシャ・ローマ人が栽培を広めた	問18	3	P31	開花期間は約一週間と短い。蜜はなく、多量の花粉を風で飛ばす風媒花であるが、虫媒花でもある	問35	3	P56～59	①スペイン ②スペイン ④ギリシャ
問2	2			問19	1	P31	一つの雌ずい(めしべ)と二つの雄ずい(おしべ)を持っている	問36	3	P65	カヨヌは油用品種である
問3	3	P54	紀元前16世紀頃、フェニキヤ人がオリーブをギリシャ諸島に持ち込み、前14世紀頃ギリシャ半島に普及したと言われている	問20	2	P31	表面は厚い透明のクチクラに覆われて光沢のある濃緑色、裏面は密生した毛茸で銀白色になっている	問37	4	P38,39	幹や太い枝に4月～8月にかけて、葉・果実にかからないように年3回までに抑え散布する
問4	2	P8	日本に初めてオリーブオイルが持ち込まれたのは、約400年前の安土桃山時代。当時、キリスト教伝導のため来日したフランスコ派のポルトガル人神父が携えてきたといわれる。	問21	3	P16	①背日性 ②自家和合性 ④向日性	問38	3		
問5	3	P12	この戦争によって、北方領域に巨大な漁場を獲得し、魚介類の水揚げが増え、輸出用缶詰加工のため輸入していたオイルの自給が求められた	問22	2	P40	マンザニロで9月下旬～10月下旬、ミッシンで10月上旬～11月中旬が収穫期となる	問39	4	P42	1970年代中頃まで主な採油法であった。
問6	2			問23	4	P41	油用果実は一般的に、黒紫色に熟した果実を収穫するが、近年では緑果を収穫し採油したオリーブオイルも販売している	問40	4	P45～49	マットなどの資材を使用しないので、油が汚染させる危険性が低い
問7	4	P11	農商務省直轄であった神戸オリーブにおいて、福羽隼人による管理が好成績を収め明治15年に日本で初めてオリーブオイルの採取及びテーブルオリーブ加工が行われた	問24	3	P35	比較的低温には強く、短時間の場合マイナス10度で寒害が発生する程度である	問41	4	P73	バージンオリーブオイルはビタミンEやベータカロテン、ポリフェノール類などの抗酸化物質を豊富に含んでいる
問8	2	P12	農商務省が明治40年に3県を指定し、翌年それぞれ1.2haの規模で試験栽培開始した	問25	4	P34	日照量が多いほど生育が良い	問42	1	P73	②、③、④は多価不飽和脂肪酸である
問9	3	P13	香川県農事試験場の初代場長であり、小豆島にオリーブ樹を最初に植栽した人物である	問26	3	P34	オリーブ樹は乾燥を好む植物とされているが、適度な降水量が必要となる	問43	2	P73～77	オリーブオイルの成分中約55～83%を占めるのはオレイン酸である
問10	4	P60～62	実際にアメリカから輸入されたのは3品種あったが、1品種は不明	問27	1	P36	土壌に対する適応性は大きい、根の生育には良好な通気性を必要とする	問44	1	P71	ボマスとは採油カスのことである
問11	1	P14～15	グリーンオリーブスの塩蔵製造の品質向上に努めたのは野呂癸巳次郎である	問28	3	P35	花芽分化には気温などの環境が大きく関係する	問45	2	P71	品質の高い順に、エクストラ・バージン・オリーブオイル、バージン・オリーブオイル、オーディナリー・バージン・オリーブオイル、ランパンテ・バージン・オリーブオイルとなる
問12	3	P14	これにより、日本における果実加工は、ようやく一歩を踏み出した	問29	4	P34,35	オリーブ樹は根がもろく、風害を受けやすい。またオリーブ樹は常緑樹である	問46	1		エクストラ・バージン・オリーブオイルとは、素晴らしい風味や酸度の低さともに、トップクラスのオリーブオイルである
問13	3	P9	①香川県初代知事である ②バリエで開催された万博博覧会の日本事務局副総裁 ④香川県出身の学者	問30	2	P60	小豆島では、2008年時点において、約60品種・系統が導入されており、その中4品種が一般的に栽培されている	問47	4	P74,75	骨のミネラル化(骨組織へのカルシウム吸収・沈着)を促進。カルシウム喪失を抑制するので骨粗しょう症の予防にもなる
問14	3	P18,22	オリーブが農産物輸入自由化の第一弾に組み込まれた	問31	3	P60～62	国内オリーブ栽培の果実加工用、油用兼用の最主要品種となっている	問48	1	P22	②県木に選ばれた年 ③香川県オリーブ公園が開園した年 ④小豆島オリーブ協会発足の年
問15	2	P27	昭和39年当時小豆郡内では、106haで栽培されていた	問32	2		世界中で多く栽培される主要品種。自家不和合性が強いなど弱点があるが栽培は容易	問49	1	P22	②試験栽培が開始された日 ③香川県花に選定された日 ④内海町オリーブ並木推進会発足日
問16	1	P30	モクセイ科オリーブ属に属する常緑樹である	問33	1		含油率は25%程度と非常に高い。一本でも実をつけやすく、耐寒性、耐病性にも優れている	問50	2	P82	梨本宮に献上したオリーブの絵がオリーブ園が日本で最初に絵になったものと言われている
問17	4	P30	樹齢は極めて長く、地中海沿岸では1,000年を超える老樹も珍しくない	問34	4		観賞用樹として最も苗木生産量が多いのが特徴				